

6月1日 初めての試み!

保護者による「保育参加」

今年度は、単に保育を見る「参観」ではなく、保護者が保育者側に立って子どもに関わる「保育参加」を初めて実施しました。赤いベストを着用した保護者の皆様には、子どもの主体性を育むために保育者が「幼児期に育てたい10の姿」をどのように現場で実践しているかを、実際に経験していただきました。

ジャガイモ掘りの活動では、大人が先回りして手助けをするのではなく、子どもたちが自ら気づき、工夫し、仲間と協力して収穫できるよう、一歩引いて見守り支える保育者の視点を体感していただきました。

「園の具体的な関わり方の意味が深く理解できた」との声もあり、家庭と園が共に子どもの成長を支え合う、大変有意義な時間となりました。

